

Title	昭和五十二年度三田史学会大会；昭和五十二年度慶応義塾大学修士論文・卒業論文題目
Sub Title	
Author	
Publisher	三田史学会
Publication year	1978
Jtitle	史学 (The historical science). Vol.48, No.4 (1978. 3) ,p.102(438)- 104(440)
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	彙報
Genre	
URL	<a href="https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00100104-19780300-0102">https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00100104-19780300-0102</a>

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

# 彙 報

## 昭和五十二年度三田史学会大会

昭和五十二年度の三田史学会大会は、昭和五十二年十月十五日(土)、慶応義塾大学三田校舎において国史・東洋史・西洋史の三部会で左の如く計一六名の研究発表があり、ついで慶応義塾大学名誉教授高村象平氏の公開講演が行われた。

### 研究 発表 表

#### 国史部会 一〇四番教室

- 1 神代紀の一書について  
慶応義塾大学(大学院博士課程) 三宅 和朗氏
  - 2 長岡遷都の事情について  
慶応義塾高等学校 柴田 利雄氏
  - 3 杉田玄白の「鸚齋日録」について  
慶応義塾志木高等学校 松崎 欣一氏
  - 4 鎌倉期足利氏の族的関係について  
慶応義塾普通部 小谷 俊彦氏
- 東洋史部会 四四四、四二二番教室
- 1 太平天国の「後期」女館について  
慶応義塾大学(大学院博士課程) 白川 知多氏

- 2 明末徐鴻儒の乱について  
東海大学 浅井 紀氏
  - 3 レンネル島における内陸適応と環境収容力  
慶応義塾大学 近森 正氏
  - 4 レンネル島における集落の変化  
—一九三八年を境として— 瀬良 重夫氏
  - 5 中国・モンゴル訪問雑感(スライド映写)  
慶応義塾大学 伊藤 清司氏
- 西洋史部会 一一一、一〇二番教室

- 1 ロックの政治思想の形成について  
慶応義塾大学(大学院修士課程) 大森雄太郎氏
- 2 中世末期スペインの反セミテイズムに関する一考察  
—一三九一年の民衆蜂起を中心に—  
慶応義塾大学(大学院博士課程) 宮前 安子氏
- 3 アベラルドウス「哲学者、ユダヤ人、キリスト教徒の対話」について  
慶応義塾大学(大学院博士課程) 三上 朝造氏
- 4 欧州統合について  
芝浦工業大学 丸山 繁郎氏
- 5 ギイレルムス・デ・サンクト・アモーレとボナヴェン  
トゥーラの托鉢修道会論について  
慶応義塾大学 坂口 昂吉氏
- 6 一〇五九年ラテラーノ・シノドウス教令第三条について  
—初期グレゴリウス改革に於ける聖職者婚姻の問題—  
元青山学院大学専任講師 加賀美久夫氏

7 デーモスとデーモス制度 美作女子大学 向山 宏氏

公会講演 西校舎五一七番教室

私と経済史 慶応義塾大学名誉教授 高村 象平氏

昭和五十二年度慶応義塾大学修士論文・

卒業論文題目

東洋史専攻修士論文

土屋 啓一 北朝漢人豪族に関する一考察  
高津 茂 阮朝初期に於ける祭祀の性格について  
古川 学 インドの一八五七年反乱の性格と日本に対する影響

東洋史専攻卒業論文

加藤 宣雄 易の陰陽思想に関する若干の考察  
清水 文子 『老子』『莊子』『天問』にみられる天地開闢論について——創世神話から形而上学へ——  
丹野 亮造 莊周の思想形成に関する一考察  
中村 文保 始皇帝の泰山封禪に関する一考察  
後藤 文明 河東衛氏研究  
樋口 仁 拓跋晃——その仏教信仰を中心として——  
山田美弥子 隋・突厥関係における若干の問題  
竹内 直美 燕雲十六州をめぐる唐代から五代にいたる変遷

彙報

伊藤 公夫 海禁政策下における密貿易と嘉靖海寇反乱

松本 秀夫 太平天国の郷官制度——特に浙江省の場合——

鶴田 一郎 李大釗——一九一三年から一九一六年頃までの思想形成を中心に——

新井 弘志 蔣渭水と日本統治下の台湾における政治運動

横山 まり 中国解放区における婦女政策

中山 清隆 百済土器の編年についての一考察

岩瀬 彰 チベット・ラマ教の人類学的考察

——特に政治組織を中心として——

山田 裕 中部ジャワ・イスラム社会の「近代化」、モデレン、コロットの対立と解消

伊井 直行 南マダン（ニューギニア）におけるカーゴ・カルトと文化変容

山下 守 紀元前四千年紀の東南イランにおける都市化と交易

小淵 忠秋 カナアン宗教とヘブル宗教の関係についての一考察

松尾 信 イブン・アラビーに関する一考察——イスラム世界にみる宗教と哲学の合一について——

川村万喜子 イスラム・スペイン——十三世紀バレンシアにおけるイスラム教徒反乱を例として——

難波 道芳 ヒュンキヤル・イスケレッシ条約と一八三〇年代の東方問題

西洋史専攻修士論文

齋藤 全彦 コリングウッドにおける歴史主義

清水 祐司 エリザベス朝の治安判事——ウィリアム・ランバードの Eirenarcha を中心として——

西洋史専攻卒業論文

大平 行雄 歴史における全体論対方法論的個人主義について

小出 元一 カール・レヴィットにおける歴史主義の問題

平井 肇 イギリスにおける余暇利用の社会史的研究——一八六三年のフット・ボール・アソシエーションの成立

轡田 普善 ウィリアム一世の治世の性格について

伊藤 時男 ビスマルクの社会政策についての一考察

石川 雄士 ドイツ革命についての一考察——対外関係を中心として——

石田 明等 ウッドロ・ウィルソンの第一次大戦に対する参戦政策について

清原 修 一九世紀末ロシア資本主義論争とプレハーノフの思想

湊 恒雄 一八六八年条約に至るテトン・スー族と白人との関係

森 雅俊 タンボフ反対——ロシア革命における農民の運命——

直井 治夫 バルカン同盟に至るロシアのバルカン政策について  
大嶽 卓弘 一九三〇年のドイツにおける政治的転換についての  
一考察——ブリュニング内閣の成立を中心とし

て——

佐藤 史朗 イギリスの労働運動についての一考察

田辺英之輔 初期ナチス体制の確立過程に関する一考察

——経済界及び国防軍とナチスとの関係——

大島 渡 一二世紀ルネサンスとシャルトル学派

須藤 修 一二世紀イングランドにおけるシトー会史の一側面

島田 文男 アメリカ史におけるフロンティアの意味

家田 愛子 アラビア遊牧民——サウジ・アラビアにおけるベド

ウインの定住化について——

中山 幸夫 イオニア叛乱の社会的背景について

尾崎はるみ バクトリアとその周辺のヘレニズム文化

竹内 章 古代オリエント音楽史序論